

1. 委託事業実施の趣旨

文部科学省委託事業「学校施設の防災力強化プロジェクト(平成 26 年度)」
による『徳島大学避難所研修会』

徳島大学では、東日本大震災以降、今後発生の可能性が高まっている南海トラフ巨大地震等に対応するため、東南海・南海地震対策委員会を立ち上げ、対応体制の見直し、災害対策マニュアルの見直し、災害対応班別のアクションと課題整理などを実施してきました。

このような中、平成 25 年 3 月に徳島市から、災害時に大学施設を津波の一時避難所として利用したいとの申し出があったため、協定書の締結を行い、本学の災害対応体制にも「避難住民対策班」を組織し、災害時の避難住民への支援とアクションの検討を行っています。

この度、文部科学省の公募事業である「学校施設の防災力強化プロジェクト」に、本学が申請していた『大学による教職員・学生・近隣住民と協働した実践型避難所運営研修会の実施』が採択されました。

研修の狙いは、近隣住民に大学構内の避難所施設の所在位置、各施設の鍵の保管場所と管理方法及び施設内の確認と防災備品の備蓄現状を知って頂くことにより、災害時における住民避難のスムーズな行動に結び着けたいと考えています。さらに、災害時、住民避難対策班を担当する大学職員が、担当避難所を案内することで、担当職員自身の訓練にも有効と考え取り組むものであります。

徳島大学南海トラフ巨大地震被災想定

被災想定レベル2

東海・東南海・南海・日向灘
+ 南海トラフ連動地震(Mw9.1)クラス
1000年に1回程度

津波対策レベル2
避難最優先、人命を守る



被災想定レベル1

宝永南海地震(Mw8.6)クラス
200~300年に1回程度

津波対策レベル1
事業継続、早期復旧の達成



3キャンパスの地震動と津波被害(満潮時最大)